



文化財防火デー合同消防訓練 貴重な文化財を火災から守る

先人が遺した貴重な財産を火災から守るとともに、迅速かつ的確な消防技術の習得を図るため、1月27日に極入・金蔵寺で文化財防火デー合同消防訓練が行われました。当日は、金蔵寺の庫裏から出火した火災が強風にあおられ本堂への延焼が危ぶまれ始めたという想定の下、重要物件搬出訓練や応急手当訓練、初期消火訓練などが行われ、約80人が参加しました。



走らない、歩くサッカーで笑顔が生まれる ウォーキングサッカー教室初開催

1月27日、さゆり公園体育館でウォーキングサッカー教室が初めて開かれました。ウォーキングサッカーは歩いて行うサッカーで、年齢や性別、経験を問わずに安心して取り組みます。また、走ってボールを追いかけることができない通常のサッカーとのギャップが笑顔を生みます。当日は約20人が参加し、交流を深めながら冬場の運動不足解消を図りました。



中野区むらおこし実行委員会の皆さんが参拝者をおもてなし 旧正月の二年参りにぎわう

旧暦の大晦日にあたる2月4日から旧正月の2月5日にかけて、大山祇神社で二年参りが行われました。旧暦の大晦日、午後9時を回ると徐々に参拝客が増え、午前0時の一番太鼓を合図に新年のご祈祷が執り行われました。神社周辺では、今年も中野区むらおこし実行委員会の皆さんによる歳の神やそばの振る舞いなどが行われ、大勢の人でにぎわいました。



↑トークセッション後の記念撮影。前列中央が講師の中村さん

西会津若者まちづくりプロジェクト 「お招きしたい！」トークセッション

2月15日、若者まちづくりプロジェクト主催の「お招きしたい！」トークセッションの第2回が交流物産館よりっせで開かれました。今回は、タイ王国在住で台所研究家の中村優さんをお招きし、「ばあちゃんの、あそび心の見つけ方」をテーマに、中村さんが取り組む「ばあちゃんのレシピ」プロジェクトを事例としてワークショップやトークセッションを行いました。

沖縄県大宜味村児童生徒との冬季交流事業 ホームステイで絆深める

沖縄県大宜味村児童生徒との冬季交流事業が2月8日から10日にかけて行われ、西会津町と大宜味村の交流団の皆さんが夏季交流以来およそ半年ぶりに再会しました。児童生徒の皆さんはホームステイ家庭でそれぞれ交流し、絆を深めたほか、10日には大宜味村の児童生徒の皆さんが雪国まつりで沖縄の郷土芸能「エイサー」を披露し、オープニングセレモニーに花を添えました。

お別れ式では、西会津町の交流団を代表して橋谷田真緒さんが「また一緒に過ごすことができうれしかったです。この出会いを大切にしていきたい」と話し、大宜味村からは金城英城さんが「一面銀世界の中で過ごすことができ、本当に貴重な3日間でした」と交流を振り返りました。

↓みんなで記念撮影。雪国で子どもも大人も交流を深めました



↑雪国まつりで「エイサー」を披露

↑スノーモービルも体験しました

↓みんなで雪にダイブ!



↑2日目にはジョセササイズを体験



↑今回のイベントを企画した佐々木隊員

雪国でのサウナの可能性を探る② フィンランド式 テントサウナを体験!

2月2日から3日にかけて、西会津国際芸術村でフィンランド式テントサウナを体験するイベントが開かれました。フィンランドではサウナで体を温めた後、凍った湖に飛び込み体を冷やす「温冷交代浴」を行うことから、今回の体験では参加者が雪の上にダイブしてほてった体を冷やしました。参加者からは「テントサウナから雪にダイブする経験は全国的に見てもとても貴重。今後も西会津町で体験できるようにしてほしい」といった声も。

この企画は、先月の講演会とともに町地域おこし協力隊の佐々木祐子隊員が企画したもので、佐々木隊員は「テントサウナが町の新たな観光資源になれば」と話しました。